

北京日立北工大信息系統有限公司
(eラーニング)ご紹介資料

2008

HITACHI
Inspire the Next

北京日立北工大信息系統有限公司/株式会社 日立製作所



Contents

1. 北京日立北工大情報システム有限公司 (HBIS) の概要
2. 従業員教育支援e-learningのメリット及びASPのメリット
3. Digilearning製品のご紹介
4. 成功事例ご紹介

1

北京日立北工大情報システム有限公司 (HBIS) の概要

会社設立の目的

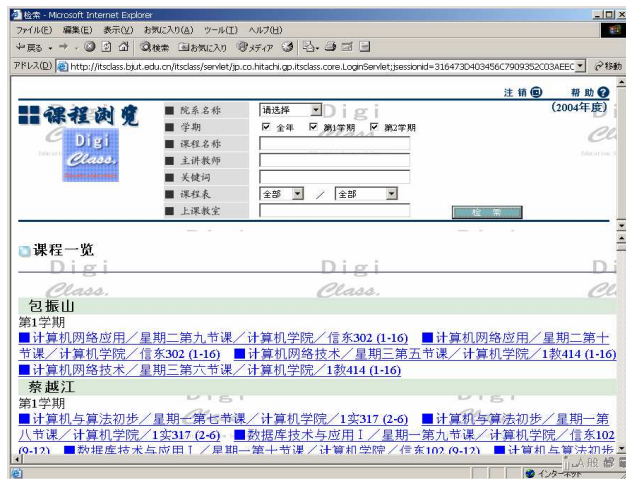
今後市場の伸びが期待される中国の政府、大学、交通などの公共分野をターゲットとし、日立の持つ技術/製品と、北京工業大学の持つ中国業務知識/人的チャネルをベースに共同でソリューションビジネスを展開するために設立。

会社概要

会社名	北京日立北工大情報システム有限公司 (英文名: Hitachi Beijing Tech Information Systems Co.,Ltd、略称: HBIS)
事業拠点	中国 北京市
事業内容	中国市場向け製品/ソリューションの開発・提供、システム構築 ⇒「電子政府」「教育」「交通」の3ソリューションを柱としたソリューションビジネス ＜対応製品/技術＞ 「電子政府基盤構築アプリポータ」「ITS/交通流シュミレータ」「デジタルキャンパスソリューション」「eラーニングソリューション“Digi Class.”/Digi Learning」等
資本金	1億円(約83.3万米ドル)
出資比率	日立製作所 50% 日立中国 10% 北京工大智源科技发展有限公司(北京工大の事業会社)40%
設立時期	2003年9月10日[登記日]
従業員数	約100名(2007年4月現在)

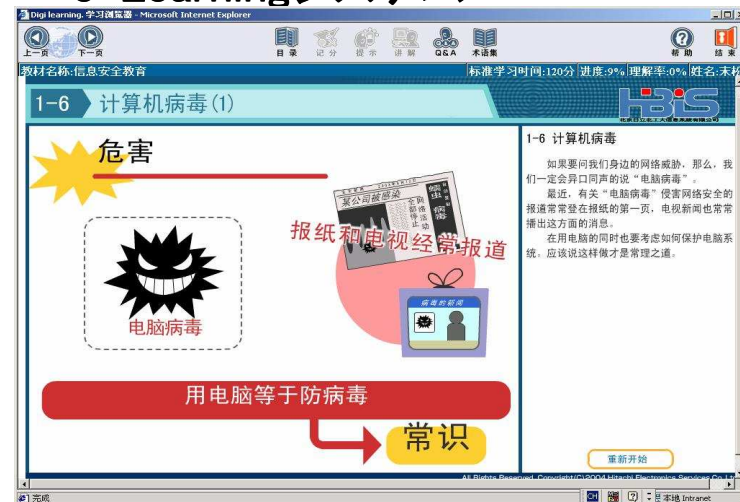
1-2 HBISの教育ソリューションの製品ご紹介 (1)

Digi class.(It's Class) 授業サポート基盤



- Digi class.は、教師、学生の両面から授業運営をサポートするシステムです。
- お知らせ、授業レジュメ公開、レポート提出、教材公開、質問受け付け、アンケートなど、授業におけるさまざまな処理をインターネット経由で行う事ができます。
- 本製品は、日本のIT's class.(日立公共システムエンジニアリング社製品)を、北京工大と共同で中国仕様化した製品です。

Digi learning.(HiPLUS) e-Learningシステム



- Digi learning.は、ネットワーク経由で、動画、画像、音声などからなるマルチメディア教材を学習する事ができるe-learning. システムです。
- コンテンツ作成、ユーザ管理、コンテンツ管理、進捗管理、オンラインテストなどを行う事ができます。
- 本製品は、日本のHIPLUS(日立電子サービス社製品)を北京工大と共同で中国仕様化した製品です。

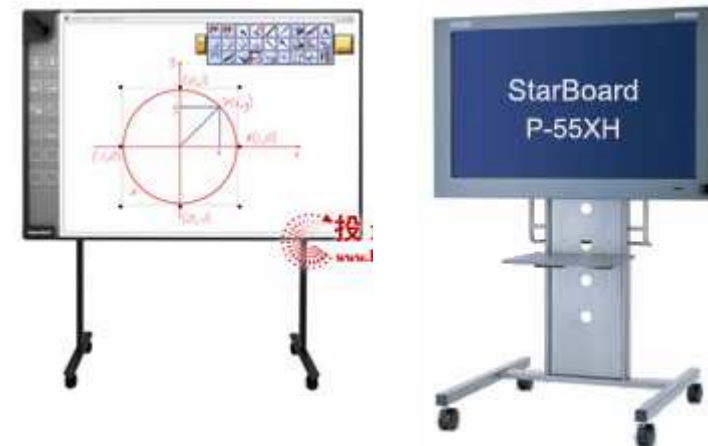
Step UP Nihongo(日本語)

日本語教育eラーニング Step Up Nihongo®



- ・コミュニケーション能力向上を重視した日本語教材です。
 - ・実際の日本人の話し方や言葉遣いなど教科書的な表現より、実践的な表現を学習できます。
 - ・教材は4つのレベルに分かれており、受講者のレベルに合った教材を学習頂けます
- 学習時間: 約75hr(1レベル) × 4レベル**
- ・インターネット接続環境があれば、どこからでも利用可能です。(回線速度500kbps以上推奨)

正投式電子白板(StarBoard) インタラクティブホワイトボード



- ・正投式電子白版はパソコンと接続し、大画面上からパソコンを直接操作することができます。
- ・どの画面においても手書き入力が可能です。
- ・社内教育等の際に、画面に直接書き込む事により、より分かりやすい解説ができます。
- ・本製品は、日本のStarBoard.(日立ソフトウェアエンジニアリング社製品)を、中国展開している製品です。

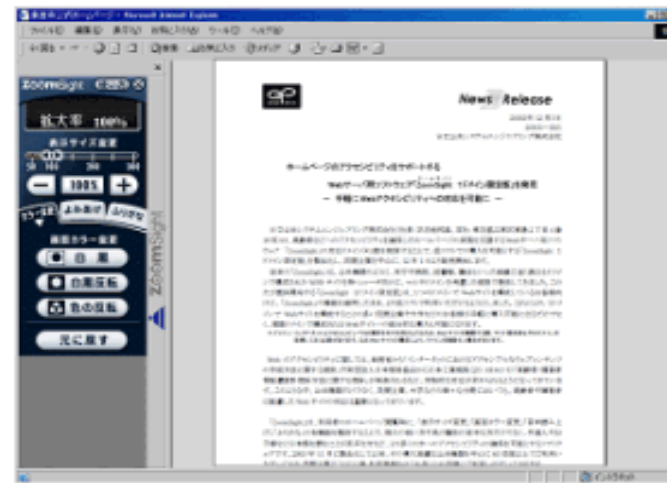
1-4 HBISの教育ソリューションの製品ご紹介 (3)

証書衛士 紙媒体偽造、複写検知



- ・不正コピーや偽造・改ざんから大切な文書を守ります。
- ・文書の複写を検知しながら、発行元を特定することができ、複写による不正な持ち出しを抑止・防止することができます。
- ・印刷した文書に、文書発行時の情報を文書自体に透かしこむことができるため、万が一の偽造や改ざんが行なわれた場合でも、文書の内容を検証することができます。

貼心広角 (Zoomsight) アクセシビリティ支援



- ・貼心広角は、ホームページを閲覧しやすくするためのアシスタントツールです。
- ・中国語、英語、日本語の読み上げが可能です。また、視力の弱い方、色の認識が苦手な方のホームページ閲覧のアシスタントを致します。
- ・本製品は、日本のZoomSight(日立公共システムエンジニアリング社製品)を中国仕様化した製品です。

2

従業員教育のアウトソーシングソリューションのご提案

①DigiLearningを活用したe-learningのASPソリューション

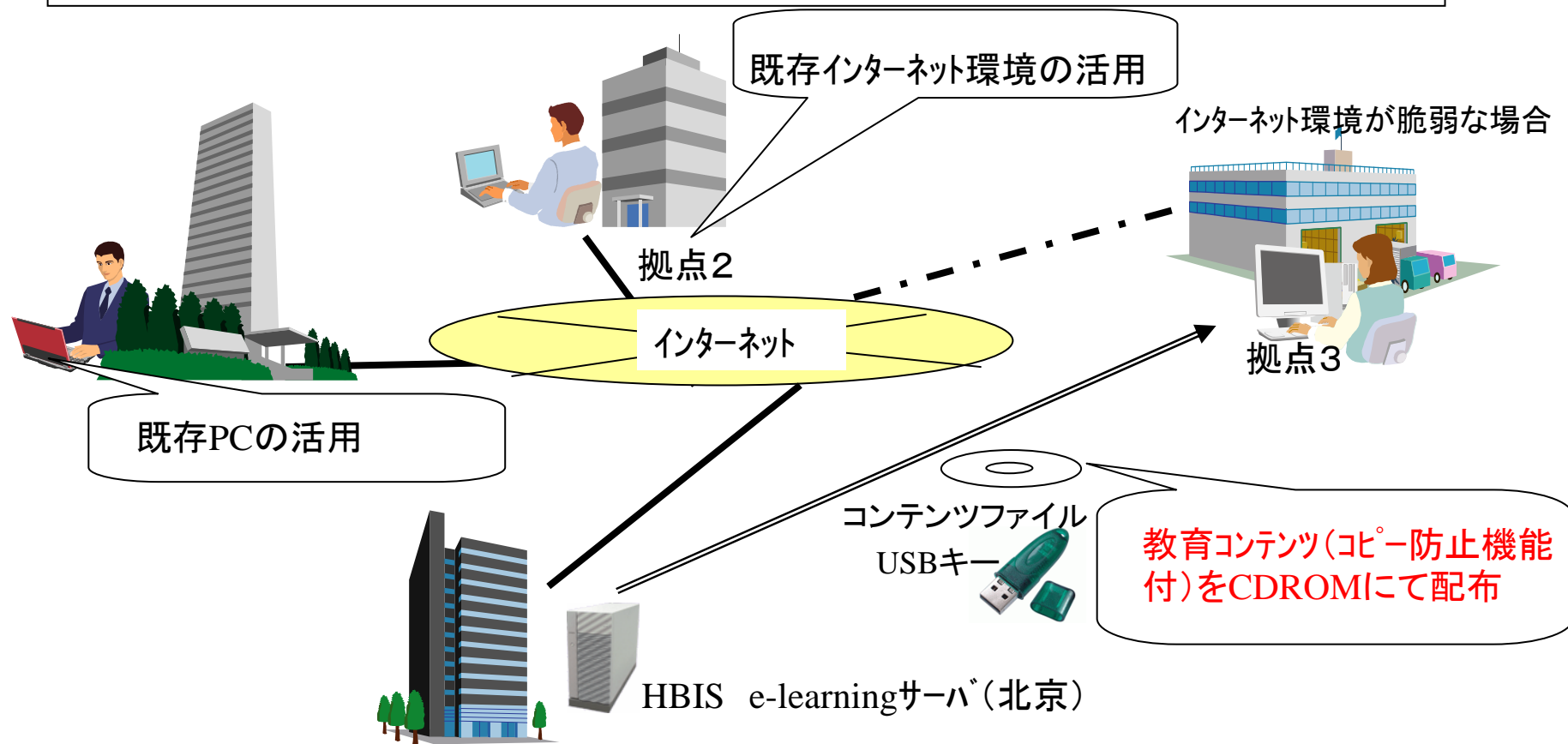
御社に特別な設備投資が不要-
インターネット環境及びパソコンのみで実施可能

②お客様個別教育コンテンツ制作を含めたワンストップソリューション

コンテンツ制作、日本の教育コンテンツの中国版製作から
e-learningASP運用の一本化-
北京工業大学・翻訳会社、
日立デザインセンタ(上海)等との連携により実現

メリット1: 特別な設備投資が不要-コスト削減

お客様の既存のインターネット環境及びパソコンを活用することができます。



メリット2:教室、テキスト準備、講師のアサイン等及びシステムメンテナンスが不要 -教育ご担当者様、システムご担当者の時間の削減

インターネットを活用することにより、「いつでもどこでも」を実現し、生産性を高めます。また、ASP運用のため、システムメンテナンスが不要となります。

【e-learningを活用する前】



- ・講師の手配
→講師の質による教え方の違いの心配
- ・学習スペースの確保、教材の印刷



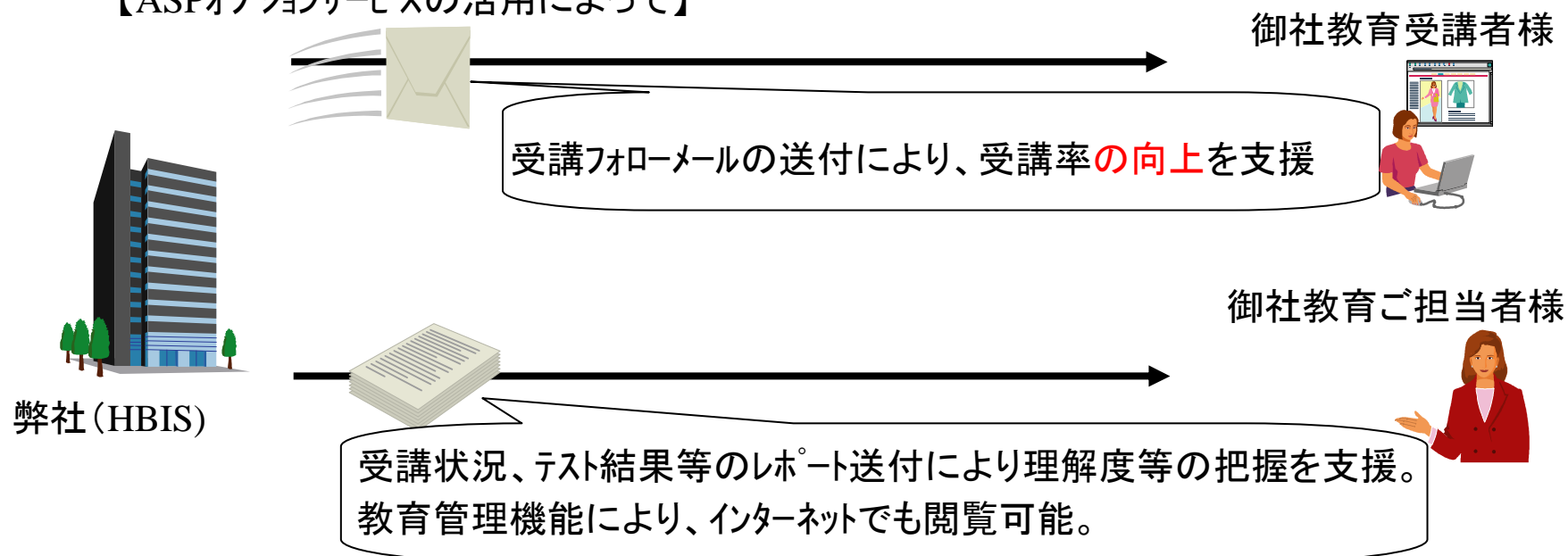
【ASPでのe-learningを導入することにより】

教育ご担当者様:e-learningと集合教育のブレンドで、より効果的な教育計画の立案が可能
システムご担当者様:ASP運用により、メンテナンス**負荷**の**軽減**が可能

メリット3: 受講フォロー、受講管理、受講報告書作成が不要 - 教育ご担当者様の時間の削減

ASPオプションサービスにより、弊社より、御社教育受講者に対し、受講フォローメールを、また、教育ご担当者様には、受講管理報告書の提出致します。

【ASPオプションサービスの活用によって】

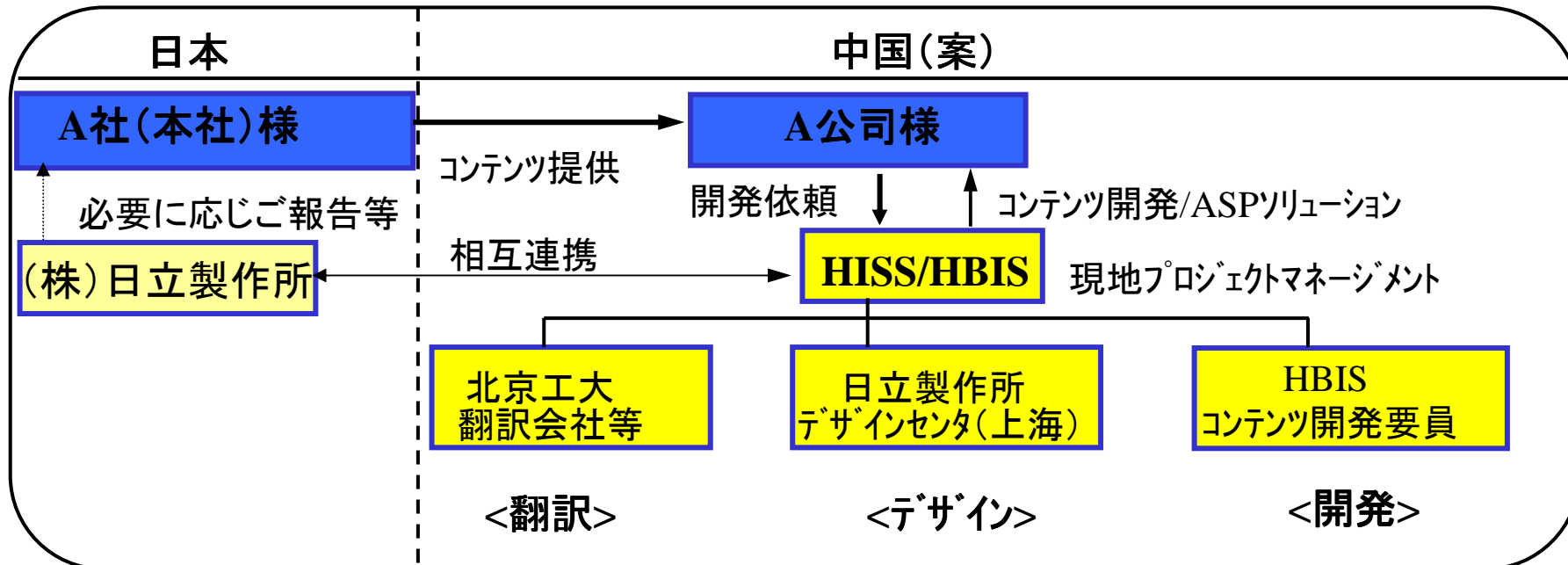


メリット:コンテンツ制作/コンテンツの中文化から

e-learningのASP運用をワンストップで実現
-御社発注の一本化

北京工業大学、日立デザインセンタ等との連携により、一般的コンテンツ開発や、製品保守等の教育コンテンツの開発をご支援致します。

【コンテンツ開発のスキーム(案)】



3

DigiLearning製品のご紹介

3-1 DigiLearning概要ご説明 (1)

①日本で実績のある製品(HiPLUS)を中国製品化

HIPLUS
Learning Management System

【中国製品化】

**DIGI
LEARNING**
Learning Management System

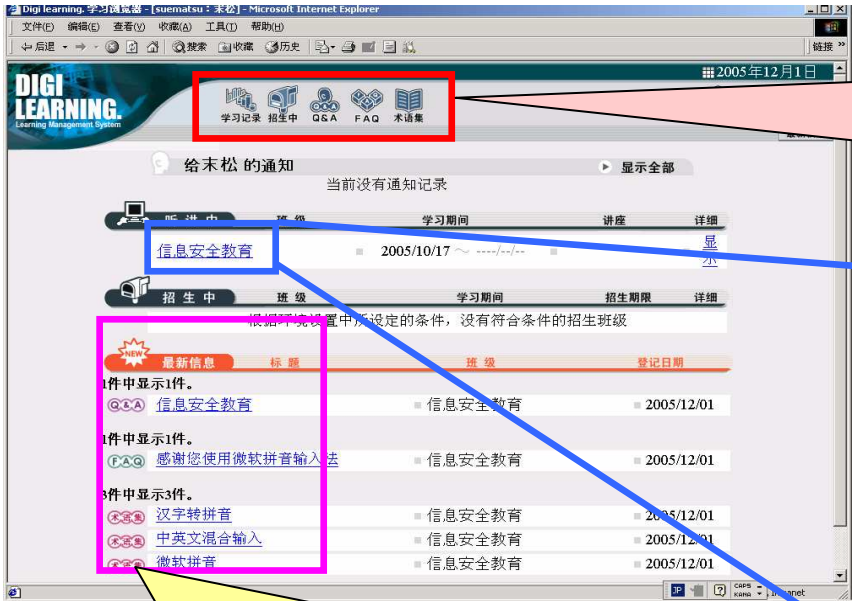
- ・日立電子サービス開発製品
 - ・日立製作所及び日立Grのe-learningシステムとして活用
 - ・教育機関、企業様への導入実績
 - ・約400機関での実績有り
- ⇒高い信頼性を有する製品

- ・製品の中国語化
- ・北京工業大学との中国仕様の検討及び機能改良
- ・パソコン初心者でも使用可能な画面設定

3-2 DigiLearning概要ご説明 (2)

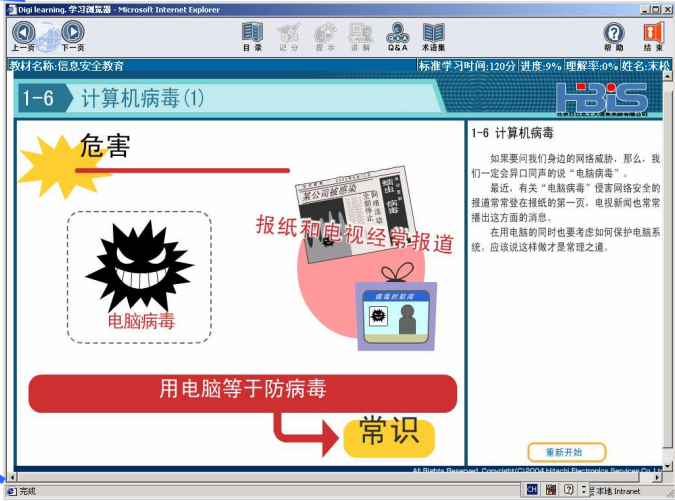
学習者メイン画面のご紹介

学習者支援情報
進捗確認、新規開講講座紹介、
Q & A、FAQ、用語集



新着情報
(新規開講講座紹介、
Q & A、FAQ、用語集)

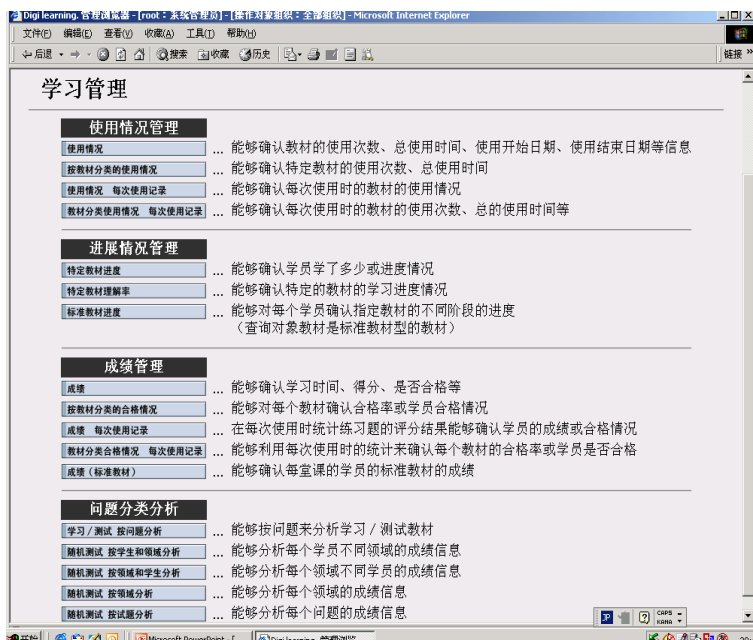
学習画面



3-3 DigiLearning概要ご説明 (3)

管理者機能のご紹介1

用途に合わせてさまざまな学習管理、データ入手が可能です



- ① 学習者の学習進捗率、理解度、学習履歴等の情報を、教材/組織/学習者/クラス単位など豊富なキーで抽出可能
- ② 管理データのCSV形式での出力可能
- ③ 管理者による細やかな学習フォローが可能
- ④ テスト結果など教育の効果を高める上で必要なデータの入手も容易

現在、HBISが外販可能なコンテンツは、以下の通りとなっております。

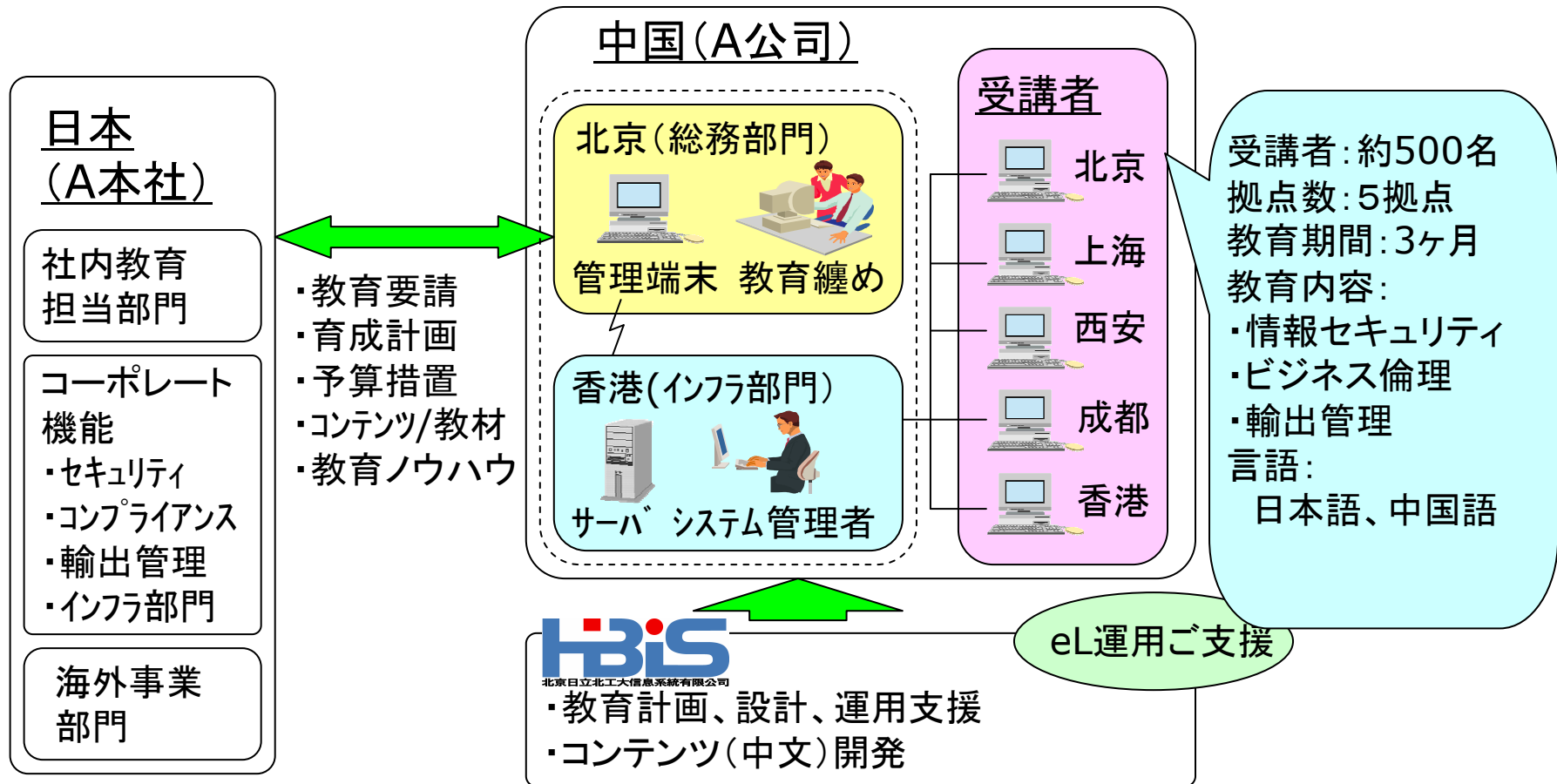
(2007/8現在)

No	コンテンツ名	言語		No	コンテンツ名	言語	
		中	日			中	日
1	情報セキュリティ	○	○	9	データベース入門	-	○
2	職場のメンタルヘルス	○	○	10	インターネット技術入門	-	○
3	環境教育(ISO14001)	○	○	11	オブジェクト指向概説	-	○
4	日系企業のマナー	○	-	12	システム設計入門	-	○
5	Step Up Nihongo (日本語)	○	-	13	プログラムのテスト技法	-	○
6	ハードウェア入門	-	○	14	ネットワーク入門	-	○
7	初心者のためのプロ ジェクト入門	-	○	15	SQL入門	-	○
8	OS入門	-	○				

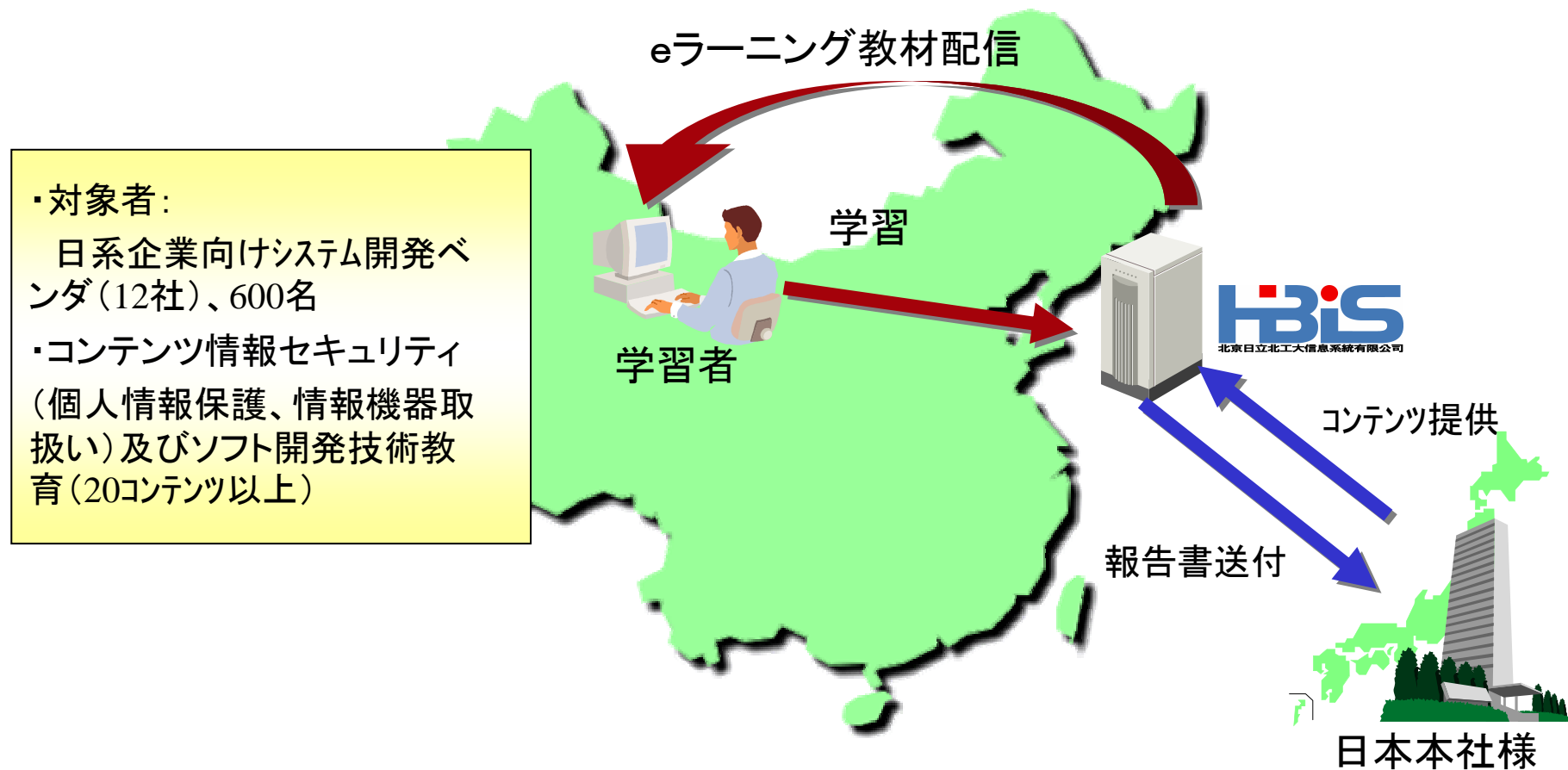
4

成功事例のご紹介

ケース 1 : コンテンツ中文化及び運用アウトソーシング



ケース 2 : オフショアベンダ向け教育運用アウトソーシング



ケース 3 : コンテンツ開発 (製品保守) 及び運用アウトソーシング

